



久山年神社社報 第二十二号 たよしの杜



宮司 本田孝裕

『例大祭（くんち）とは』

10月8日（日）に、コロナ禍の間は神事のみ行っていた例大祭（れいたいさい）が四年ぶりに通常開催されました。とはいえ、当日はあいにくの雨。神事のみを神社で行い、各種催しは久山町公民館に場所を変更して行われました。四年ぶりの開催に神様も嬉しくて涙雨を降らせたのかもしれませんが。

公民館での開催は初めての試みで、どうしても限られた広さの中で開催せざるを得なかったのは仕方ない事ですが、それはそれで成功だったのではないかと思います。

準備に携わったスタッフの皆さん、本当にお疲れさまでした。足元が悪い中を「来場して頂いた皆さん、誠にありがとうございます。来年こそは青空の下で神社の境内で行えるよう共に祈りたいと思います。



4年ぶりに姿面が来て大いに盛り上がりました

●昔は旧暦の九月九日（重陽の節句）に行なわれていたことから「九日（くにち）」↓「くんち」

さて正式名称は「例大祭」ですが、一般的には通称「くんち」といいます。九州北部の神社の例大祭の多くがこう呼ばれます。有名なところでは福岡の櫛田神社で行われる「博多くんち」佐賀の唐津神社で行われる「唐津くんち」長崎の諏訪神社で行われる「長崎くんち」などがあります。私たち長崎県民には「長崎くんち」が馴染み深いですね。

それ以外の神社でも「里くんち」と呼ばれるお祭りが地域の神社でそれぞれ行われています。当神社の「久山くんち」も里くんちの一つです。この「くんち」という言葉ですが諸説あります。

「ち」になった説。（旧暦の九月は現在の十月、十一月にあたります）

●神社にとって一年で一番大切な祭りがこの例大祭のため「宮日」↓「ぐうにち」↓「くにち」↓「くんち」になった説。

●秋に収穫された作物を、神様にお供えることから「供日」↓「くにち」↓「くんち」になった説。

それぞれの神社ごとにお祭りの大小はありますが、いずれにしても日頃からその土地を見守る氏神様に地域の安寧と氏子の幸せを祈る、神社にとっては一年の中で一番の重儀がこの「例大祭（くんち）」というお祭りです。

ちなみに「くんち」と呼ぶのは、一般的に秋のみに例大祭がある神社が多いようです。神社によつては春と秋に例大祭がある神社があります。例えば長崎県であれば護国神社などが年に二回行われています。この場合は例大祭の事を「くんち」とはいわずに「春季例大祭」「秋季例大祭」と呼称します。

これからも神社のお祭りが大いに盛り上がり、神様のご神徳の元に氏子の皆さんが平穏に幸せに暮らせるよう祈念いたします。

お名前を残してみませんか？

「久山年神社 社殿百周年記念事業実行委員会」の5回目の会議を10月に行いました。

前号でもお知らせしたとおり工費などがようやく決定して、さっそく寄付をお持ち頂いた方もいらっしゃいますが、遅ればせながら新たに寄付の趣意書も作りました。今後何らかの方法で皆様の手元に趣意書をお届けしたいと考えておりますので、何卒ご協力をお願い致します。皆さんのお名前を後世に残してみませんか？

寄付は直接、久山年神社社務所までお持ち頂くか、左記の口座へ振り込み願います。(振込手数料は差し引いて構いません)

【寄付振込先】

十八親和銀行 多良見町支店 □口座番号(普) 50095504

たちばな信用金庫 多良見支店 □口座番号(普) 1586247

久山年神社記念事業実行委員会 宛

※振込の場合は、振込完了後に神社までご一報下さると幸甚に存じます。(お礼状発送等のため)

久山年神社 社殿百周年改築 奉賛者の特典

寄付額 待遇	寄付額					
	100万円以上	50万円以上	30万円以上	10万円以上	5万円以上	1万円以上 (屋根銅板)
御礼状	○	○	○	○	○	○
御芳名社殿掲載	○ (特大)	○ (大)	○ (中)	○ (中)	○ (小)	
記念品	○	○	○	○		
特別記念品	○	○	○			
感謝状	○ (額入)	○ (額入)	○ (額入)	○		
完成内覧会	○	○	○	○	○	○
竣工祭参列	○	○	○	○	○	
竣工直会臨席	○	○	○	○		

5万円以上の寄付額については分割奉納もできます。ご相談ください。
不明な点は神社までお問い合わせください。

例大祭無事に終了

巻頭でも書いてますが、コロナ禍でずっと神事のみだった例大祭が、10月8日(日)四年ぶりに通常開催されました。

天気があいにくの雨だったため、役員だけ出席して神社では神事のみを行ない、各種演芸・催し等は場所を変更して久山町公民館で行いました。

奉納相撲などの境内でしか出来ない催し事は中止になってしまいましたが、琉球太鼓や変面ショーなどは予定どおり行われ、大変盛り上がりました。また出店やキッチンカーなどの売り上げも良かったようです。

足元が悪い中での開催でしたが、たくさんの方にご来場頂き、事故や怪我もなく無事に終了することが出来ました。

なお、子供書道展では3名のお子さんが各賞を受賞されましたのでご紹介いたします。

【長崎県神社庁奨励賞】

水田えなさん(真津山小四年)

【宮司賞】

石原心菜さん(真津山小六年)

【奉賛会長賞】

柴原海咲さん(真津山小五年)

例大祭御奉納一覧

例大祭にあたり、たくさんのお奉納を頂戴しましたので御披露致します。お名前の間違い・記載漏れがありましたらご容赦下さい。(順不同・敬省略)

【御祝奉納】

加藤藤祥・北島守幸

川崎剛・福田美子

北村イツ子・市橋晃

吉川建設株式会社

株式会社勝山ロープ

代表取締役 勝山豊

西諫早幼稚園 園田直章

くうきつちん 平十代記

有限会社祐野工務店

久山老寿会会長 吉岡数俊

長崎県央農業協同組合

代表理事組合長 真壁正二郎

あおぞら幼稚園 早田美穂子

NPO法人かぜのおとくやまえん

ミニデイサービス かのめ 家野原恭史

真津山小学校区青少年健全育成会会長 中村修一

真津山小学校区社会福祉協議会会長 井手洋一郎

久山台二ニュータウン自治会会長 池田正昭

若葉町自治会会長 佐藤一蔵

青葉台自治会会長 中村修一

貝津ヶ丘自治会会長 横山竜太

久山町自治会会長 井手洋一郎

貝津自治会会長 松尾吉嗣

破籠井町内会会長 黒田一彦

西栄田町自治会会長 白川剛助

【奉献酒】

諫早市長 大久保潔重

諫早中核工業団地自治振興会会長 栗林宏光

社会医療法人三協会 宮崎病院理事長 宮崎雅也

吉川建設株式会社 代表取締役 吉川優子

ミニデイサービス





柴原海咲さん（真津山小五年）
 来年はお天気が良くなることを祈りつつ、ご来場された皆さんや準備に携わった皆さんにお礼申し上げます。ありがとうございました。

協議会会長 井手洋一 郎
 久山生産森林組合
 組合長 田川重則
 真津山小学校校長 高鍋洋
 喜々津東小学校校長 緒方敦
 ミニディスプレイ
 かめの家野原恭史
 成就院
 スナック蘭



今年も ライトアップいたします

今年も秋の紅葉の夜間ライトアップを致します。

紅葉の色付きや散り具合で期間が前後する可能性があります。11月15日頃から11月末までを予定しています。

期間の変更など詳細はブログやインスタグラム等で随時お知らせしますので、そちらをご確認ください。

夜の神社も幻想的です。ぜひ夜にもお越し下さい。



オリジナルの 御朱印帳ができました

この度、以前から念願だった「久山年神社オリジナル御朱印帳」が完成しました。

デザイナーの絵をたぬき絵で有名な「堤けんじ」さんに依頼して、当社にお参りするたぬきの家族や、昔は神社が長崎街道の近くにあったので、旅人姿のたぬきが神社へお参りする様子などを描いてもらいました。

無理を言って二匹の神社の看板猫も描いて頂きました。堤さん曰く猫を描いたのは初めてとのこと。また「町でまんじゅう買ってー」のわらべうたは宮司が揮毫しました。

とても可愛い御朱印帳です。ぜひたくさんの方にお受け頂ければと思います。

どこにいるか
探してニャ



二匹の看板猫も描いてもらいました



通常御朱印帳 (表)



通常御朱印帳 (裏)



見開き御朱印帳 (表)



見開き御朱印帳 (裏)

通常御朱印帳 (大判)
12cm × 18cm
初穂料 2500円

見開き御朱印帳
22cm × 16cm
初穂料 4000円

初穂料は社殿改築の費用
に充てさせていただきます

年の初めには氏神様へご挨拶しましょう

【授与品頒布時間】（境内仮設テント）
 12月31日 23時～1月1日 午前3時
 1月1日 午前8時～午後5時
 1月2日 午前8時～午後5時
 1月3日 午前8時～午後4時



除夜祭 12月31日 23時30分～
 歳日祭 1月1日 0時30分～
 ※参列は自由です

初詣は久山年神社へ！



令和6年 参賀一覧表

参賀名	性別	年齢	生まれ年
厄入	男性	数え年41歳（満40歳になる年）	昭和59年生まれ（ねずみ）
	女性	数え年33歳（満32歳になる年）	平成4年生まれ（さる）
厄明（厄晴）	男性	数え年42歳（満41歳になる年）	昭和58年生まれ（いのしし）
	女性	数え年34歳（満33歳になる年）	平成3年生まれ（ひつじ）
その他の大厄	男性	数え年25歳（満24歳になる年）	平成12年生まれ（たつ）
	女性	数え年19歳（満18歳になる年）	平成18年生まれ（いぬ）
還暦	男女とも	数え年61歳（満60歳になる年）	昭和39年生まれ（たつ）
古稀	男女とも	数え年70歳（満69歳になる年）	昭和30年生まれ（ひつじ）
喜寿	男女とも	数え年77歳（満76歳になる年）	昭和23年生まれ（ねずみ）
傘寿	男女とも	数え年80歳（満79歳になる年）	昭和20年生まれ（とり）
米寿	男女とも	数え年88歳（満87歳になる年）	昭和12年生まれ（うし）
七五三	女兒	数え年7歳（満6歳になる年）	平成30年生まれ（いぬ）
	男兒	数え年5歳（満4歳になる年）	令和2年生まれ（ねずみ）
	男女とも	数え年3歳（満2歳になる年）	令和4年生まれ（とら）

後編 編集

おそらく今号が今年最後の社報になると思います。年末のご挨拶は失礼させていただきますが、残りの月を恙なくお過ごし頂きます。来年も元気なお姿でお参り頂きますようお願い致します。

